

岡田播陽 はるかた 評論家。明治六年十一月六日兵庫縣印南郡大鹽村生れ。昭和二十一年没（一八七二—一九四一）。本名次郎藏。明治二十四年大阪心齋橋筋の播磨屋呉服店を開くと、大鹽平八郎研究の蓄りなど次第に讀書と著作に傾斜。昭和初年からは店を畳んで著述に没頭した。特異な獨學文人。二男の直木實作家岡田誠二による傳記『自分人間』（昭和五十二年一月）二十日中央公論社（ひまわり）。

著書に『明けむとする夜の叫び』（大正五年六月）二十日更新文藝社（『二都生活』（再版・大正七年九月十九日大同館書店）、『地獄道京』（大正十一年七月五日読聲社）、『血みどころの世界』（大正十四年十一月二十日大阪・立正屋書房）、『反村墟』（昭和二年一月十日改善社）、『大衆経』（昭和五年五月）二十日平九社）等。

